



産業成長戦略（林業分野）の第2期計画

【詳細 一線表見直し】

目 次

- 産業成長戦略（林業分野）の第1期計画と第2期計画の変更の概要・・・・・・・・・・ 1
- 産業成長戦略（林業分野）の見直し概要・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2
- 線表【戦略の柱1～6】・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 5

産業成長戦略(林業分野)の第1期計画と第2期計画の変更の概要

1. 新規(内容の組替を含む)

項 目	新規(追加)理由
1 原木生産の拡大	
1 間伐と皆伐をベストミックス	原木増産のため、皆伐による生産を支援 (立木購入資金、搬出作業道、再造林等への支援)
(1) 生産性の向上と原木の増産 ◆★皆伐による原木の増産【組替新規】	
2 加工体制の強化	
1 品質の向上と加工量の増大	県内加工事業者の生産力強化のため、意欲ある事業者が実施する 個別の(共同化によらない)施設整備を支援
(2) 県内加工事業者の生産力等の強化 ◆★既存事業者の加工力の増強を推進	
4 木質バイオマス利用の拡大	
1 "マテリアル"+"エネルギー"利用の推進	再生可能エネルギーの全量固定価格買取制度に対応し、木質バイオマス発電を推進
(3) 事業化対策 ◆★木質バイオマス発電の推進	
6 健全な森づくり	
1 循環型の林業を持続	増加が見込まれる皆伐跡地の適切な更新を促進するため、再造林 に対する支援、低コスト施業の検討・普及を実施
(1) 持続可能な森林づくり ◆★再造林への支援、省力化の検討	

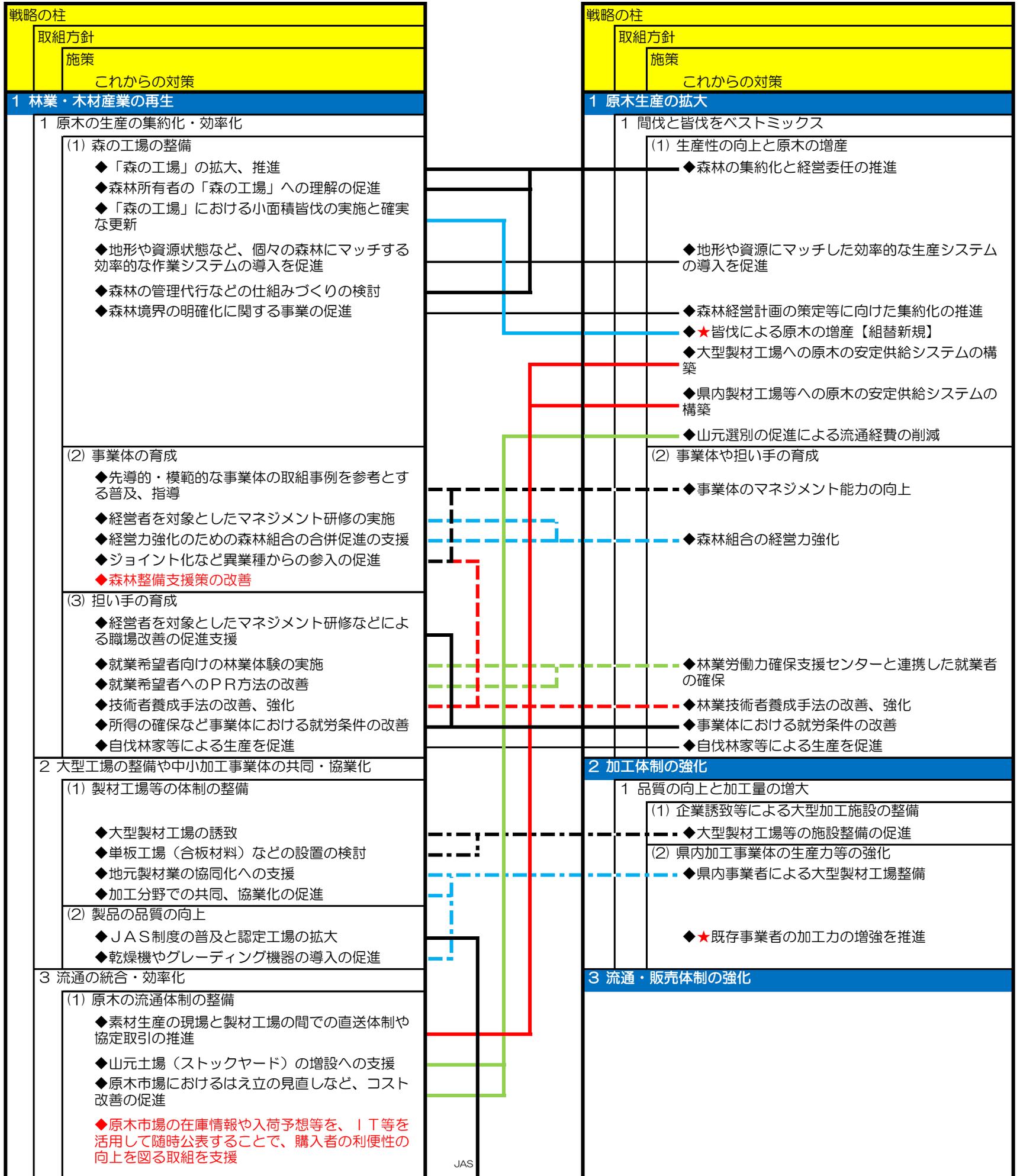
2. 廃止・終了

項 目	廃止(終了)理由
1 林業・木材産業の再生	
1 原木の生産の集約化・効率化	森林整備に関する助成制度の改善であり、産業成長戦略の各取り 組みや通常の制度運用の中で改善
(2) 事業者の育成 ◆森林整備支援策の改善	
3 流通の統合・効率化	IT等を活用する環境が未整備。当面は協定取引等による原木の 安定供給に重点化
(1) 原木の流通体制の整備 ◆原木市場の在庫情報や入荷予想等を、IT 等を活用して随時公表することで、購入 者の利便性の向上を図る取組を支援	
4 販売力の強化	情報発信用のホームページは作成済み、今後も継続
(1) 販売力の強化 ◆ITの積極的な活用による情報発信と消費 者ニーズの把握	
3 森のものの活用	
1 森の恵みを余すことなく活用する	地域の主体的な取り組みを地域アクションプランで支援 観光担当部局と連携
(2) 都市との交流の促進 ◆森林環境教育や森林保全ボランティア リーダーの育成 ◆交流促進の支援 ◆地域の自主的な取組の支援 ◆地域資源の組み合わせなど魅力あるメ ニューづくりの支援	

3. 統合

「産業成長戦略(林業分野)の見直し概要」のとおり

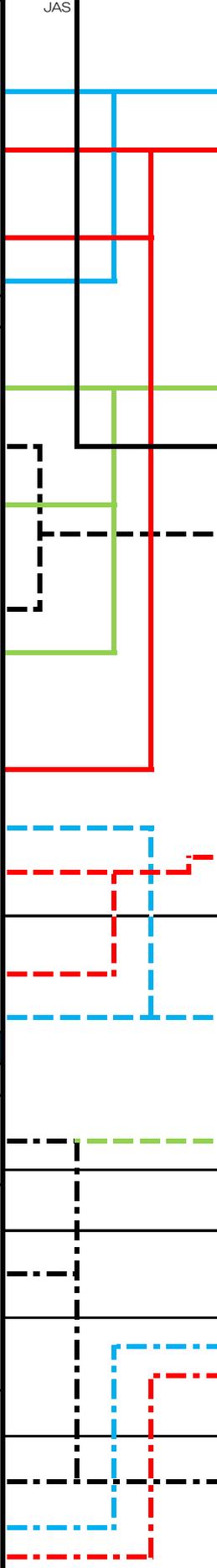
産業成長戦略（林業分野）の見直し概要



戦略の柱	
取組方針	
施策	
これからの対策	
(2) 製品の流通体制の整備	<ul style="list-style-type: none"> ◆量産化工場の安定取引先との提携促進 ◆小規模製材の輸送コスト削減のための共同輸送方式の研究 ◆製品市場等の統合による販売力の強化（共同受注＋共同仕上げ＋共同輸配送）の出来る体制への支援 ◆大消費地に流通拠点の設置を検討
4 販売力の強化	<p>(1) 販売力の強化</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆企業と連携し県の信用力を活かした販売促進活動の推進 ◆「れいほくスケルトン」のようなブランド戦略を構築し、顔の見える取引を支援 ◆観光や地域の産業と連携し、産地見学会を都市との交流の場に発展させるための受け皿体制への支援 ◆森林認証取得の取組への支援とPR ◆消費地工務店とのネットワークづくりの促進支援 ◆ITの積極的な活用による情報発信と消費者ニーズの把握 ◆梁桁ネットワークのシステム整備と利用拡大への支援 ◆地域工務店との情報交換や、共同PR、共同納入などを行うための体制を検討 ◆公共事業や公共施設での県産材の率先利用 ◆県産材を利用した木造住宅建設促進のための支援 ◆県産材を利用した木製品の需要拡大のための支援 ◆木造住宅に関する情報発信の強化
2 木質バイオマス利用の拡大	<p>1 木質バイオマスエネルギーの利用促進</p> <p>(1) 燃料供給対策</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆集団化による効率的な林地残材の収集 ◆木質バイオマス燃料の安定供給 <p>(2) 利用促進対策</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆木質バイオマスボイラーの改良及び低コスト化 ◆集団化を前提とした木質バイオマスボイラーの導入 ◆幅広い分野での木質バイオマス利用の促進 <p>(3) 事業化対策</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆推進体制の強化 ◆燃料供給拠点から利用機器までを集団化 ◆燃焼灰の適正処理 ◆コスト差を埋める支援の仕組みの検討

JAS

戦略の柱	
取組方針	
施策	
これからの対策	
1 地産地消・地産外商の推進	<p>(1) 流通の統合・効率化</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆大消費地に設置した流通拠点を活用した土佐材流通量の拡大 ◆県外販売の窓口を一本化し、製品の安定供給を促進 <p>(2) 販売力の強化【地産外商】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆大消費地への販路拡大 ◆JAS工場の製品出荷量を増やして、JAS製品の安定供給体制を確立 ◆産地や品質の証明など、地域材ブランド化を推進し、商品力を向上 <p>(2) 販売力の強化【地産地消】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆公共事業や公共施設等での県産材の利用推進と木製品の需要の拡大 ◆県産材を利用した木造住宅建設促進のための支援 ◆木造住宅に関する情報発信の強化
4 木質バイオマス利用の拡大	<p>1 "マテリアル"＋"エネルギー"利用の推進</p> <p>(1) 原料供給対策</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆原木や林地残材の搬出に対する支援 ◆★木質バイオマス燃料の安定供給 <p>(2) 利用促進対策</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆木質バイオマスボイラーの改良及び低コスト化 ◆幅広い分野での木質バイオマス利用を促進 ◆燃焼灰の適正処理 ◆コスト差を埋める支援の仕組みの検討 <p>(3) 事業化対策</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆推進体制の強化 ◆需要側を中心とした集団化による効率的な事業展開 ◆★木質バイオマス発電の推進



戦略の柱	
取組方針	
施策 これからの対策	
3 森のものの活用	
1 森の恵みを余すことなく活用する	
(1) 生産体制の整備	<ul style="list-style-type: none"> ◆普及指導員による生産技術の普及 ◆地域の特用林産物の生産活動の支援とPR ◆多品目少量生産に対応する、共同集荷システムの仕組みづくりを支援 ◆販売体制への支援
(2) 都市との交流の促進	<ul style="list-style-type: none"> ◆森林環境教育や森林保全ボランティアリーダー ◆交流促進の支援 ◆地域の自主的な取組の支援 ◆地域資源の組み合わせなど魅力あるメニューづくりの支援
4 健全な森づくり	
1 荒廃森林の解消・鳥獣被害防止の推進（森林整備の推進）	
(1) 荒廃森林の解消に向けた森林整備の推進	<ul style="list-style-type: none"> ◆荒廃森林解消のための間伐推進 ◆森林の管理代行などの仕組みづくりの検討 ◆森林所有者に対する普及啓発活動の強化 ◆森林境界の明確化に関する事業の促進 ◆県民参加や企業支援による森林管理の促進 ◆森林保全ボランティアの支援 ◆オフセット・クレジット（J-VER）制度を活用した森林整備の推進
(2) 鳥獣被害防止の推進	<ul style="list-style-type: none"> ◆計画的にニホンジカの個体数調整を行う ◆森林に対する食害等への防除対策の促進

戦略の柱	
取組方針	
施策 これからの対策	
5 森のものの活用	
1 森の恵みを余すことなく活用	
(1) 特用林産物等の生産の振興	<ul style="list-style-type: none"> ◆普及指導員による生産技術の普及 ◆地域の特用林産物の生産活動の支援とPR ◆販売体制への支援
6 健全な森づくり	
1 循環型の林業を持続	
(1) 持続可能な森林づくり	<ul style="list-style-type: none"> ◆森林経営計画の策定等に向けた境界明確化の促進 ◆★再造林への支援、省力化の検討 ◆獣害対策の支援
(2) 荒廃森林の解消	<ul style="list-style-type: none"> ◆保育間伐の推進 ◆県民参加や企業支援による森林管理の促進 ◆オフセット・クレジット（J-VER）制度を活用した森林整備及び木質バイオマス利用の推進